

地域おこし協力隊通信

No.13

～人が変われば町が変わる～



《町おこし班》

伯耆町で我々協力隊の活動内容を発表してきました。伯耆町の自治体の方々の取り組みの話を聞いている中で、若者の減少や町民の高齢化、空き家問題や農業の跡継ぎ不足等、伯耆町も江府町も抱えている課題は同じだなあと感じました。そこで協力隊として活動する中でも感じたことですが、課題を解決する為に大切なのはやはり「人」だと思いました。抱える課題が似ていても取り組む「人」が違えば、その町も変わっていきます。私はこれからNPO法人奥大山倶楽部として活動していく中でそんな江府町の課題に取り組む「人」＝仲間を増やしていきたいと考えています。そんな仲間を増やし、町を変えていきたいです。

[雨宮 達樹]



《農業支援班》

春になりました。無事畑を耕耘してもらい今年の畑をはじめの事ができました。去年とは畑の場所が変わり面積も数倍に広くなり、1.2反の畑を使いプチトマトとキャベツを植えて、プチトマトが8月～9月、キャベツが10月頃収穫予定です。野菜の販売先を探す、どういう売り方をすれば良いのか、どこからお金を持ってくるのか等の計画を考えるのもはじめてで、なかなか良い経験になったと思います。この経験は今後の農業に活かしながら定住に向けて頑張っていきます。

[片岡 薫哉]

▲井手さらいの時の写真